

第9回多治見市役所新庁舎検討市民委員会 会議録	
日 時	令和5年1月27日（金）午後3時00分～午後4時51分
会 場	多治見市役所駅北庁舎 4階災害対策本部室
出席委員	小林甲一委員（委員長）、柴田錦見委員（副委員長）、原國夫委員、加藤恒文委員、坂崎雄介委員、堀尾憲慈委員、佐々木千裕委員、今枝寛彦委員、西尾英子委員、
欠席委員	佐藤喜好委員、小口英二委員、竹本幸二委員
事務局	仙石総務部長、福田総務課長、石田主査、佐藤主任
傍 聴 人	0名
報道機関	4社
会議結果 要旨	
1. 駅北庁舎及び新庁舎建設予定地の視察を行い、新庁舎建設に係る他建造物との接続条件を確認し、新庁舎の具体的なイメージをつかんだ。 2. 基本構想コンセプト（案）についての留意事項として、これからの行政サービスのあり方、ネットワーク型コンパクトシティの展開に向けた施策の提示が必要である旨を追加する。 3. 子育て世帯、高校生、多治見に通勤通学で来ている方の意見を聞くため、市民委員会主催のワークショップの開催を検討する。	
会議録 要旨	
1 総務部長挨拶	
2 議事 委員長	これまで本委員会は本庁舎で行ってきたが、今回はじめて駅北庁舎で行う。みなさんすでに駅北庁舎には何度も来られており、新庁舎建設予定地も目にしていると思うが、委員会としてきちんと新庁舎建設予定地、そして他の建物との接続の条件等を確認しておいたほうが良いと思い、視察を提案した。駅北庁舎と南北自由通路の現地を確認し、具体的なイメージを広げる参考にさせていただければと思う。
（1）駅北庁舎及び新庁舎建設予定地視察	
	次の順で視察を行った。 駅北庁舎4階→3階→2階→1階→新庁舎建設予定地→南北自由通路北端
（2）ワークショップのまとめについて	
委員長	説明を受けながら現地を確認できてよかった。今後の議論にいかしていただければと思う。 前回のワークショップから少し時間が経ってしまったが、ワークショップのまとめについて、事務局から説明願う。
事務局	（資料1、2について説明）
委員長	ワークショップのまとめについて、意見はあるか。
委員	なし
（3）基本構想（案）について	
委員長	（資料3「はじめに」「1. 基本的な考え方」について説明）

事務局	(資料3「2. 新庁舎のコンセプトA」「3. 新庁舎のコンセプトB」「4. その他の留意事項」について説明)
委員長	まず、今後の予定をお伝えする。次回、各務原市の庁舎を見学する。委員全員で一緒に視察を行い、考えることが重要である。3月にもう一度委員会を開き、コンセプトを確定し、市長に提出したい。 コンセプト案の趣旨と建て付けについて、この段階で修正点があれば意見をいただきたい。2つの視点6つの機能に整理したが、この整理の仕方や具体的な中身について意見をいただき、次回の最終案に反映させていければ良いと思っている。コンセプト案の作成にあたり、中間報告策定前に市から提出された資料、中間報告に至るまでの委員会での議論、中間報告の内容、その後の議論を整理し、盛り込んでいる。足りない部分、忘れられている部分があれば意見をいただきたい。自由な議論をしていただければと思う。
委員	南北自由通路と新庁舎との接続について、敷地の制約や既存の建物の高さの違いがあり、とても難しいと感じた。今日現地を見て、南北自由通路から出てすぐ新庁舎の玄関になり、建物内へ入っていくイメージを持った。難しい中ではあると思うが、一体化を期待している。技術的には難しいかもしれないが、南北自由通路から駅北庁舎まで、通路がただの袋にならないように、通路から外へ出てまちに繋がるように、人の動線を考えていきたい。庁舎の利用者のみを使う通路ではなく、フリーの通路となるような工夫を考えていきたい。
委員長	事務局からの説明にもあったが、新庁舎において、1、2階と3階以上は違う発想の建物になる。旧来の市役所のような執務室は3階以上になり、1、2階は建物を利用した新しい駅の施設、駅ビルが駅南から横に展開されていくというイメージである。それをうまく実現できるかが、委員の期待と懸念につながる。 また、優先順位をどうするかという問題がある。駅北庁舎2階と新庁舎との接続部分には階段がなく、行き止まりである。現在は、1階から吹き抜けとなっており有効活用されているが、そこをどう活かしていくかが重要である。今後、基本計画策定の段階になり、具体的な内容に入っていくタイミングでポイントになる部分だと思う。
委員	2点ある。1点目について、「2・2災害対応の最重要拠点」の部分が全体の構想の中でどの程度の優先順位であるかにも関わると思うが、災害に強い市庁舎体制としていくと記載がある。読むとイメージはしやすいが、具体的にはどういったものか市民には見えづらい部分だと思う。災害に強い施設とはどんなものか補足説明があると、新庁舎がなぜこのような構造になっているのか分かると思う。災害対策は市民全員が気になる部分であり、有事の際は100%頼らなければならない場所であるので、災害に強いという表現をもう少し具体的にすると良いと思う。 2点目について、あらためて現地視察し、南北自由通路にある大きい階段をなくし建物に組み込むことを検討しているということだったが、あの広さの階段だからこそ、階段利用者が一時集中しても滞りなく駅へ向かえるのではないかと思った。エスカレーター側の階段はそこまで広くなく、エレベーターも混む。階段だけ独立してあの広さがあることが良い結果を生んでいるのではないかと思った。広い階段がなくなることに

	り、通勤通学時に混雑する入口になってしまうと、印象も変わってくる。災害時に事故が誘発される可能性もある。通勤通学時の電車利用者の利便性についても含めると良いのではないかなと思う。
委員長	せっかく駅に直結しても、駅利用者の利便性が損なわれることはあってはならないことなので、非常に重要だと思う。災害については、優先順位が高く重要なことである。災害時の活用イメージが、基本計画の段階からイメージできていると、謳い文句だけではない説得力のある基本計画になると思う。
委員	よくまとまっており、非常にわかりやすいと思う。現地を見学して、駅周辺だけを見ると素晴らしいが、多治見市全体の中心拠点という視点でみると、駅の周辺が突出しているように感じる。周辺地域とのアンバランスが大きいのではないかな。多治見市の公共施設が、削減や複合化による縮小ムードであることを考えると、駅周辺の突出感が大きい気がしている。自分の地域は変わらない、施設がなくなってしまうというネガティブな雰囲気を感じなくもない。市民の方の共感を得られるような、ポジティブな観点からの継続した努力が必要だと思う。 新庁舎の建物などハード面について検討しているが、ソフト面については知らないことが多いので、市の組織、主な担当業務を知りたい。また、市のサテライト事務所というべき地区事務所のリストと担当業務を知りたい。市民が市役所に来なくても良い方法としてオンライン化を進めることは良いが、地区事務所を活用し、歩いて地区事務所に行ってもらうことも積極的に考えた方が良いのではないかな。市役所に来なくても良い工夫として、地区事務所の活性化、拡大も重要だと思う。
事務局	市の組織図、主な担当業務について簡潔にまとめ、次回参考資料として提供する。
委員長	今後のまちづくりのあり方と連動していかないと、市民の方の共感を得ることはできない。あらためて、まち全体をみてどうしていくかが大きなところだと思う。市の発展の経緯からすると、駅を利用する方と利用しない方が極端に分かれている。さらに、駅を利用していた方々が徐々に利用しなくなっていくのが現状である。駅を利用しない方々にとっては、駅周辺が発展しても自分とは関係がない、となり不安が募る。これからの自分たちの生活はどうなるかを考えると思うので、大事なことだと思う。
委員	共感を得ることが大事だと思う。不安に思われる方に分かりやすい説明をし、市全体にとって新庁舎の建設が不可欠なことであると上手に説明をすると、進めやすいと思う。 また、地区事務所について、開所時間も知りたい。
委員長	高齢者などの移動が難しい方々について、週に一度でも福祉課が訪ねていくなど、少しの発想の転換で市民の方の安心は違ってくると思うので、ぜひ工夫してほしい。
委員	今日あらためて外に出て多治見のまちをみると、ずいぶん高層ビルが増え、思っている以上に駅南の開発が進んでいると感じた。その中で駅南と駅北の流れをどのようにつくるのかという論点がある。それがコンセプトの2つの視点で明確になり、良い形でまとめられてきていると思う。 南北を繋げると、では東西の流れはどうなのか。東西の流れを、駅を拠点とした新し

	い新庁舎の建設がどのようににぎっていくのか、どのように私たちが関わっていくのか新たな課題が見えてくる。良い意味で市民の流れをつくっていく、良い形になっていくと思う。 来なくても良い行政をつくるのは大事だと思う。一方で、顔を合わせて納得する、出向いてわからないことは教えてもらうということも大切である。駅を拠点としたまちの玄関であるが、東西南北全ての多治見市民の玄関として、新しい市役所にいってみようという流れもつくっていく、そのような構想が膨らんでいき、今日はとても良い委員会になってきていると思う。これからも進めていきたい議論である。
委員長	多治見は南北に長いまちであり、東西は南北の半分かくらいの距離であるが、南北ばかりではなく、東西についても配慮が必要かと思った。
委員	これまで ICT の活用により来なくても良い市役所をぜひ目指してほしいという話をしてきたが、出向いてくれる市役所もいいなと思った。そのためにこの場所が必要である、ここがないとこれができないというような説明をしていくと良いのではないか。駅周辺の人だけが便利になるのではなく、多治見市全体が淵までネットワークとして繋がるためには、ここの中心が大切であるというように押し出していくと良いのではないか。市役所がよくなることで、暮らしがよくなるというイメージがつくと他人事ではなくなるのではと思った。
委員	あらためてみると、この2年やってきたことは間違っていなかったと感じる。ネットワーク型コンパクトシティの考え方は、様々な自治体が興味を持ってきていると思う。仕事柄、様々な市町村の方と会うことがあるが、ネットワーク型コンパクトシティ良いねという声を聞く。ただ、市民にとって共感を得られる形を増やしていく、そういうものでないといけないと思う。市民の1人としてこれからも考えていかなければならないと思った。しかし、先のことは想像できるが確実なことはわからない。可能性として一番高いところを想定してやっていくしかない。考え方として、来なくて良い市役所として、出向いていくのはいいなと思った。近年は交流センターが充実しており、市がやっていることが見やすいという感覚がある。加えて出向いてもらえたら、自分が年を重ねてからのことについて少し希望が持てるかなと思う。
委員長	3人の委員の話を聞き、「4. その他の留意事項」でひとつ項目を設け、行政サービスのあり方、あるいはネットワーク型コンパクトシティの展開における施策を提示してほしいというような要望を加えてはどうか。市民委員会としては、コンセプト案がかたまりつつあるからこそ出てくる意見かと思う。新庁舎の部分に盛り込むのは難しいので、留意事項のところにしっかりと一つの項目として盛り込んでどうか。
事務局	オンラインで手続きができるという仕組みは、来年度以降かなり進んでいく。定着するまでは数年かかると思うが、そのような動きが本格化していくのはまぎれもない事実である。どう今後のまちづくりのなかで位置づけていくのか。ネットワーク型コンパクトシティという単語は出てくるが、その具体的な事例のひとつとなるか、市として明示していく。それにより共感を得られるかはわからないが努力は必要だと思う。留意事項として加えていただきたい。

委員長	大事なことだと思う。せっかくいただいた意見なので反映したいと思う。
委員	視察を行い、自分の想像とは少し違ったかなと正直感じた。今後、マイナンバー制度によりどんどんオンライン化が進んでいく。委員が言ったように外に出向いていくのも大事だと思った。 東西南北すみずみまで、全員が納得するのは難しいかもしれないが、ここまでやってもらったんだと感じてもらえるようにしていきたい。様々な地域をみてきたが、新しいものを作るときに大事なことは、全員賛成は絶対ないが、自分は反対だが一生懸命やっってもらっている、というところまでもっていくことが成功の第一条件だと思う。 東濃地方をみたとき、多治見の立地条件は非常に良いと思う。そういった意味からコンパクトシティがつくりやすいというのはあると思うが、まちの端に住んでいる者からすると、出向いてもらえるような行政であってほしいと思う。笠原はアザレアホールも解体され、様々なものが無くなっていく。どんどん出向いてもらい、市民みんなと出会ってもらえるようなあったかいまちになればありがたい。
委員	よくまとまっており、わかりやすいコンセプトだと思った。細かい部分を色付けしていけば、素晴らしい新庁舎になっていくのではないかと思っている。 今日初めて駅北庁舎の3階に入り、子育て世代の方がよく利用していると感じた。そうすると、やはりこれからもっと女性の意見、新庁舎についての様々なアイデアなどを聞いていただくと良いと思った。性別で区別するのもよくないかもしれないが、行政も女性の意見をどんどん聞いてほしい。 多治見は生活しやすいまちだと思っている。日常的な買い物は自宅周辺で解決し、高級品が欲しければ名古屋へすぐ行ける、住みやすいまちである。外から来られた方も多治見は良いまちだと、生活しやすいまちだと話していた。外部から来られた方にもどんどん意見をきくと良い。
委員長	市民委員会主催でワークショップを開催し、子育て世帯、高校生、多治見に通勤通学で来ている方に意見を聞いてみると面白いかもしれない。基本計画を策定するにあたり、市民委員会の議論と並行した形で来年度実現できると良いのはないか。市民委員会としては、この段階の議論は出尽くしていると思う。
事務局	今日はコンセプトについて議論をしているが、徐々に具体化した内容にはいっていく。適切なタイミングで、一つでも二つでも実現できるよう探っていく。 以前、多治見に誘致した企業の従業員の方に、困りごとはないかアンケートを取ったことがある。いろんな可能性があるなと具体的なイメージが浮かんた。委員長と相談しながら、実現に向けて動いていきたい。
委員長	市民委員会コンセプトとして概ねご了解いただけた。今日いただいた意見、特に留意事項の部分や今後の進め方について追加し反映する。3月これを元にもう一度議論をしたい。次のステップにいく段階でご意見をもらえたらと思う。今日の視察を経て、新しい発想や意見があれば次回発言していただきたい。
4 次回以降の日程	

事務局	次回の日程について、2月20日（月）午後0時30分に本庁舎に集合し、各務原市役所新庁舎への視察を予定する。また、次々回となる第10回市民委員会は、3月17日（金）午後3時から駅北庁舎4階災害対策本部室での開催を予定する。 視察について、質問があれば事前に募集する。質問がある方は、事前に配布した用紙で事務局へ連絡ください。それではこれで本日の会議を終了する。
-----	---